

# しみずの教育 ちよっといひ話

【平成29年6月号】

清水小学校

校長 山下 勇

## PTA（保護者、子ども、教職員）とおやじの会の共同による環境整備

5月21日（日）にPTA生活環境委員会主催の環境整備が行われました。ワインロードと学校花壇の花植やグラウンドの草取りを行いました。また、おやじの会の協力により、学校農園のビニールハウスの整備や体育館前の駐車場の白線引きをしていただきました。整備された環境の下で、運動会を迎えることができたことに感謝しています。これからも、保護者や地域の方々、多く皆様に、ご協力・ご支援をいただける学校づくりに努めていたと思います。



暑い中での駐車場のライン引き

## 清水小学校プールがオープン



水泳少年団初練習

6月1日（木）に、「清水小学校プール」がオープンしました。オープンセレモニーでは、阿部町長様、伊藤教育長様、藤井児童会長、匂坂水泳少年団長、山下校長がテープカットを行った後、清水小学校水泳少年団が初泳ぎを行い、オープンを祝福しました。これから、クローズする8月31日（水）までの期間、学校の体育の授業や幼稚園・保育所の水遊び、一般開放等で、多くの方に利用していただけるものと思います。水泳・水遊びを通して、子どもをはじめ、町民の皆様の体力向上の拠点の一つとなることを期待しています。改めて、素晴らしい施設が設置され、利用させていただけることに感謝しています。

## 運動会での子どもたちの躍動・輝きから感動を

少し肌寒い中実施された運動会。保護者をはじめ、多くの皆様にご参集いただきましたことに感謝しています。子ども一人ひとりが持つ力を発揮し、走ったり、飛んだり、踊ったりする姿から、躍動感と真剣に取り組む輝く姿を見ていただくことができたものと思います。そして、清水小学校の子どもたちの一生懸命さや団結力、協調性など、素晴らしいところを一杯知っていただくことができたものと思います。さらに、子どもと共に取り組む教職員の姿や「チーム清水小」という協働体制、高い組織力を知っていただけたものと思います。



5・6年生による「よさこいソーラン」

## 子どもたちも 元気いっぱい！

校長 真下 正 則

今年度も5月後半を迎え、本校の教育活動もいよいよ軌道に乗り、順調に進めることができております。改めて、保護者や地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。



6年生が1年生をおんぶ

子どもたちは、6月3日（土）の運動会に向けて、連日練習に励んでおります。体育の授業の始めに、自分たちでしっかりと整列をし、リーダーが中心となって準備体操を進める子どもたちの姿を見て、頼もしさを感じます。本番までの取組が、子どもたちを成長させることとなります。どうか、子どもたちがけが等せずに当日を迎え、練習の成果をしっかりと発揮できることを願っています。

さて、昨年は100周年の記念運動会ということで、協賛会から寄贈していただいた「はっぴ」（よさこいソーラン）や優勝旗のお披露目をしました。今年も大切に使用させていただきます。

今年の運動会のテーマは「御小 101 年 新しいスタート 最後まで全力で走りぬけろ!!」です。昨年の記念運動会の頑張りにも負けないように、子どもたちもはりきって運動会に臨んでくれることと思います。どうか、保護者・地域の皆様にも運動会を楽しみながら、子どもたちの頑なりに熱いご声援を送ってくださいますよう、よろしく願いいたします。

終わりになりますが、5月20日（土）のPTAの「愛校日」の作業にたくさんの皆様方のご協力をいただきました。子どもたちが、元気いっぱい活動できる環境を整えていただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



真剣に掃除をする2年生

### 5月1日は101回目の開校記念日でした。

昨年は100周年でしたので、その時に贈られた記念品や備品が、学校に設置されたり、収められたりしています。そのうちの一つでもある記念モニュメントが、グラウンドに設置され、毎日の気温を表示してくれています。そして、天気の良い日には、外で元気いっぱいに走り回る子どもたちの姿が輝いています。

これからもずっと、このような光景が続いていきますように！

## 清水中学校

校長 宝 輪 博 継

写真は体育祭前、練習終了後に3Bがクラス全員で一列になって、組体操の「さざ波」を披露してくれたところです。

動画で撮ったのですが、静止画ではその美しさ、見事にそろった呼吸がお伝えしきれません。とても美しい演技だったのに。残念です。

「さざ波」は、組体操では女子の演目ですが、写真では分かりづらいものの、列の奥に男子も加わってやって見せてくれました。ひとつにまとまろうとするクラス全員の思いを示してくれたものでした。



本校体育祭の種目には、運命的な競技がほとんどありません。どれも多くの練習が必要で、クラスや系列の結束力が試されるものばかりです。体育祭当日には、保護者・地域の皆様にも、息の合った競技や演技を披露していますが、もちろんそこに至るまでには山あり谷あり。対立したり、励まし合ったり。けんかしたり、支え合ったり。多くの苦難や喜びを経て、当日を迎えていることは想像に難くありません。

そこにこそ体育祭の目的があります。教室では得られない、学びや成長があります。

先日、学校教育指導訪問がおこなわれ、十勝教育局からいらした指導主事の先生が授業の様子をご覧になって「生徒同士が自然に教え合ったり学び合ったりする温かい雰囲気がある」とほめてくださいました。体育祭の成果です。

## 御影中学校

校長 寺 島 康 博

### ボランティア清掃

5月18日(木)ボランティア清掃活動を実施しました。学年縦割り班4班になって学校を出発し、御影地域を歩きながら清掃活動を行いました。道路を実際に歩いてみると、空き缶など様々なゴミがあることを実感しました。「活動中、すれ違った地域の方から声をかけていただき、うれしかった」、「上級生や下級生と協力し合って清掃を行うことで、学年を超えた新しい交流が生まれた」など清掃活動を心地よく振り返ることができました。



## 感性を醸成する御中ギャラリー

本校では、校舎内の廊下壁面を利用してさまざまな絵画や写真を展示しています。昔から、本校では「御中ギャラリー」と名づけて、学校の中に芸術（美術、書写、写真など）を取り入れ、生徒たちが知らず知らずのうちに芸術に触れ、生徒の感性を醸成することに取組んできました。現在、廊下壁面には、地域で活動している友美画会の皆様の作品を展示しています。



生徒たちには、芸術性の高い作品に少しでも触れてもらいたいと思いつけています。いつも通っている学校の廊下に、ふと立ち止まってじっくり見ると、その作品から作者の世界観や表現したいことが伝わり、優れた作品群がそこにあるということに気付いてもらいたいと思っています。

保護者や地域の方々には、来校した折に、ちょっと立ち止まって鑑賞していただけたらと思います。

### 清水高等学校

校長 平野道雄

## 「教員の卵」教育実習生が頑張りました！

5月8日（月）～26日（金）、本校で稚内北星学園大学情報メディア学部4年の佐藤千秋さんが教育実習に来ました。佐藤さんは清水小、清水中、清水高で過ごした生粋の「しみずっこ」です。24日（水）3校時の「数学Ⅰ」で行われた研究授業では、稚内北星学園大学の澁谷久教授も参観する中、実習開始の頃とは見違えるように堂々と生徒の前で話し、生徒の主体性を引き出す学び合いのアクティブラーニングの手法で授業を進める姿は、参観した先生方から高い評価を得ていました。



【学習の手順を説明する佐藤実習生】

本校では、近年、将来教員を志望する生徒が増えてきています。教員を志して、北海道教育大学釧路校に平成25年度卒で1名、平成27年度卒で2名、平成28年度卒で1名が進学したほか、佐藤さんのように教員養成大学以外でも教職課程を履修している学生が少なからずいるとのこと。また、在校生の中にも教員を志望している生徒が各学年に数名おられます。

教員として、我々と同じ教職の道を教え子たちが進もうとすることは、この上ない喜びで

すが、教職のみならず、これからも、すべての生徒が描く将来の夢の実現に向け、学校をあげて全力で応援して行きたいと考えます。

## 高体連十勝支部大会で部活動生徒が頑張りました。

### 次は学校祭で全生徒が頑張ります！

5月25日（木）～27日（土）には高体連十勝支部大会が行われ、体育系の各部は全力で頑張りました。陸上競技では、男子3,000M障害で清水中出身の吉田渉君（2年）が7位入賞、女子1名がやり投げ1位と円盤投げ4位の好成績を残したほか、弓道競技で女子個人1名が4位に入賞し、全道大会に出場することとなりました。



【3年生を中心に頑張った陸上部】

高体連十勝支部大会が終わった後は、6月7日（水）～9日（金）の中間考査、そして7月8日（土）・9日（日）の学校祭に向けて準備が始まります。

今回の学校祭は「SMILE」をテーマに、「第70回」の記念としてこれまで以上に力を入れて取り組んでいます。清水中出身の生徒会長大久保珠美さん（3年）を中心に、今や北海道の代表的な文化となった「よさこい演舞」や、清水中出身の小泉憂佳さん（3年）らが担当して盛り上げる「虹灼祭（こうやさい）」、学校祭などの歴史を振り返る掲示などの工夫を凝らしています。

一般公開は7月9日（金）10:00～13:30です。模擬店や系列学習成果発表、学級展示などにたくさんの方々が足を運んでいただくことを期待しています。

## 清水幼稚園

園長 福原幸江

### ありがとうございます… 園庭・砂場解放



降園後の園庭と砂場の開放では、元気な子どもたちの声が響き、初夏を感じます。

先日、キツネ等の侵入を防ぐための砂場のネットを、終了時間の3時に閉めに行くと、後片付けも終わり、すでにお母さんが閉めていてくれました。ありがとうございました。

遊具の点検も終わり、ようやくいろいろな遊びができるようになってきました。走ったり、くぐったり、お友達と競ったりと、お日様のもと元気な園児です。

## 環境整備…草取り、グラウンドの整備に有難いお力添え

父母と先生の会主催の環境整備を5月13日（土）に実施していただきました。

林会長のあいさつ後に、『ウサギ小屋の土の入れ替え』『側溝の枯葉とり』『タイヤの整備』『グラウンドの除草』『花壇の草取り』の5つのグループに分かれ作業を行っていただきました。参加者25名の皆さんによる1時間30分の作業で見違えるように環境が整いました。肌寒い日ではありましたが、雨も降らず最後まで作業することができました。皆さんの整えてくださったグラウンドや園庭で、子供たちがカいっぱい遊んだり、運動会に向けた練習に取り組んでいます。



## 初めての英語活動

5月29日（月）から年長児の年間6回の英語活動が始まりました。年中児の折に年長さんの英語活動を見学し、とても興味をもっただけにみんな緊張の中にも積極的な姿がありました。棚田先生、マライアさんともすぐ打ち解けて、帰りにはハイタッチをして次回を楽しみにしています。



教育委員会

## 第25回 清水町幼保・小連携協議会が開催される

第25回 清水町幼保・小連携協議会が、5月30日（火）清水町文化センターで開催されました。

清水町の幼保・小連携の取組は、平成17年度に道教委の研究指定を受け、「幼保・小連携教育調査研究事業」として始まりました。平成19年度からは、現在の形の「幼保・小連携協議会」によって推進されています。今年で13年目を迎え、十勝管内でも先導的な取組を進めております。

「幼保・小連携」の取組の大きな目的の一つとして、幼稚園・保育所から小学校に入学するときに生じる「段差」をできるだけ小さくすることがあります。子どもは小学校に入学すると一日の生活のリズムや学習スタイルががらりと変わり、そこに戸惑いが生じます。それは時間の経過とともに徐々に慣れ親しんでいくわけですが、最初つまずきが大きく、その後の生活になじめないという子が増えてきました。それが、いわゆる「小1プロブレム」といわれるものです。その「接続」の部分スムーズにするために幼稚園・保育所の先生と小学校の先生方が協力して指導内容等を検討しています。それが幼稚園・保育所からの「アプローチカリキュラム」であり、小学校からの「スタートカリキュラム」といわれるものです。



具体的な取組としては、①幼稚園・保育所年長児と小学生（1年・5年）との交流活動②なめらかな接続に向けた教育課程・指導方法等の工夫・改善③保育士・教員による合同研修会・交流会の開催④保護者・地域の理解と協力があります。年長児の不安の払拭とスムーズな移行、受け入れる側の心の豊かさ（おもいやり、優しさ等）、保護者の安心感、よりよい指導方法等、子どもたち一人一人の望ましい成長・発達を促す教育環境づくりに努めていきたいと思えます。

また、今回の協議会には各所属の PTA 会長さんにも出席をいただきました。幼保・小連携の活動を理解していただき、各ブロック連携推進会議の活動啓発の一翼を担っていただければ幸いです。

（教育指導幹 清水彦一）



## みどり教育の四季

家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から  
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

夏〜かぐわしい香の中で 志(夢)大きく高く

家庭・地域

今月の取組

家庭は、できたら褒めて

一事徹底

地域は、子どもの安全

見守ろう